



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要		BEE	0.8	BEEランク	B-	★★
建物名称	豊波之光静岡支部 新築工事					

2. 重点項目への取組み度		得点 [*] /満点	取組み度	評価	
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	2.7	/5		がんばろう	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.0	/5		ふつう	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.8	/5		がんばろう	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.0	/5		がんばろう	
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目		
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。				
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)		得点	2.7	
<ul style="list-style-type: none"> ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) <ul style="list-style-type: none"> ④床:タイルカーペット、塩ビシート(20年) 壁:ビニールクロス(20年) 天井:ビニールクロス、岩綿吸(30年) ④アルミフレキ等を使用し、長寿命化を図っている。 ④給排水管の2種対上以上を使用している。 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) <ul style="list-style-type: none"> ⑫躯体・仕上材が容易に分別可能、内装材が容易に取り外せる。 ⑬ODP=0、GWP=11 ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) 	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① 外皮性能 Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 昼光利用設備 3.2 3.2.1 ③ 昼光制御 Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 躯体材料の耐用年数 2.2.2 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 2.2.3 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 2.2.4 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 2.2.5 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 2.2.6 ④ 主要設備機器の更新必要間隔			
		Q-3 1 ⑤ 生物環境の保全と創出 3 3.2 ⑥ 敷地内温熱環境の向上		
		LR-1 1 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 2 ⑧ 自然エネルギー利用 3 ⑨ 設備システムの高効率化 4 4.1 ⑩ モニタリング 4.2 ⑩ 運用管理体制		
		LR-2 1 1.1 ⑪ 節水 1.2 1.2.1 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 1.2.2 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 2 2.1 2.1.1 ⑫ 材料使用量の削減 2.1.2 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 2.1.3 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 2.1.4 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 2.1.5 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 2.1.6 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み 3 3.1 ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 3.2 3.2.1 ⑬ 消火剤 3.2.2 ⑬ 断熱材 3.2.3 ⑬ 冷媒		
	LR-3 1 ⑭ 地球温暖化への配慮 2 2.2 ⑮ 温熱環境悪化の改善			
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)		得点	3.0	
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) <ul style="list-style-type: none"> ⑰熱源種の分散化(電気・ガス、発電装置)。 	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 耐震性 2.1.2 ⑯ 免震・制振性能 2.4 2.4.1 ⑰ 空調・換気設備 2.4.2 ⑰ 給排水・衛生設備 2.4.3 ⑰ 電気設備 2.4.4 ⑰ 機械・配管支持方法 2.4.5 ⑰ 通信・情報設備			
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)		得点	2.8	
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) <ul style="list-style-type: none"> ⑲130.00/(945.9-18.347)=0.14 ■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) 	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱ ⑲ ユニバーサルデザイン計画 3 3.1 3.1.1 ⑲ 階高のゆとり 3.1.2 ⑲ 空間の形状・自由さ			
		Q-3 3 3.1 ⑲ 地域性への配慮、快適性の向上		
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)		得点	2.0	
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (㉒生物環境の保全と創出/㉓まちなみ・景観への配慮/㉔敷地内温熱環境の向上) ■敷地外環境対策 (㉕温熱環境悪化の改善) 	Q-3 1 ⑳ 生物環境の保全と創出 2 ㉒ まちなみ景観への配慮 3 3.2 ㉔ 敷地内温熱環境の向上			
		LR-3 2 2.2 ㉕ 温熱環境悪化の改善		

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	霊波之光静岡支部 新築工事	階数	5階
建設地	静岡県静岡市東町27-2, 27-9の内	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	20人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,040時間/年(想定値)
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年4月 0.0	評価の実施日	2021年6月25日
敷地面積	1,726㎡	作成者	(株)フォーサイト建設
建築面積	1,114㎡	確認日	2021年7月8日
延床面積	3,688㎡	確認者	

図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.8

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 2.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合 これはCASBEE静岡(2016年版)による評価結果です。		その他 特になし。
Q1 室内環境 F☆☆☆の建材を使用し室内環境の向上を図っている。窓はT-4相当品のサッシを使用し室外からの遮音を図っている。	Q2 サービス性能 主要内装仕上げ材、空調換気ダクトを更新間隔の長いものを使用し、長寿命化を図っている。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地正面に静岡市指定のハナミズキを植え、地域性の配慮をした。
LR1 エネルギー トップライトを設置し、面積の大きい1階ホールや廊下に採光を取り入れられるようにした。	LR2 資源・マテリアル 躯体・仕上げ材が容易に分別可能、内装材が容易に取り外せるなど、再利用可能性向上へ取り組んだ。	LR3 敷地外環境 周辺環境への配慮として、屋外照明、屋外広告物に使用する照明を制限した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される